

単為生殖するザリガニミステリークレイフィッシュに注意！

国内の水辺で新たな外来種のザリガニ、「**ミステリークレイフィッシュ**」が見つかっています。見た目はアメリカザリガニと似ていますが、**メス1匹で子孫を残す**という特徴を持っています。もし1匹でも野外に入り込んでしまうと、短期間のうちに増えてしまい、生態系に悪影響を及ぼす恐れがあります。

アメリカザリガニが野外に逃げ出し、各地で増えてしまったことにより、貴重なトンボ類や地域固有の水生昆虫、水草などが被害を受け、激減したり絶滅したりしています。

現在、地域の生物多様性を守るために、各地でアメリカザリガニの駆除活動が行われています。

ミステリークレイフィッシュが第二のアメリカザリガニとならないよう、運搬したり、野外に放したりしないよう注意してください。※これらの行為は法律でも規制されています。

ミステリークレイフィッシュ等外来ザリガニは生態系に影響を与えるおそれがあるとして法律で放出などが規制されています

※詳しい規制内容は裏面参照

特定外来生物

ミステリークレイフィッシュ

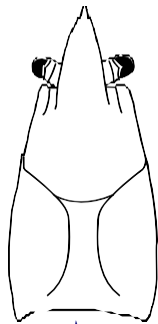
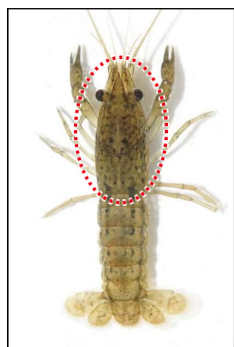
別名：マーブルクレイフィッシュ、マーモクレブスなど

体色は青や緑色味のある灰色で、大理石(マーブル)模様がある。褐色、緑褐色、青色の個体もいる。これまでにオスは見つからない。

最大体長約10cm



大理石模様が特徴



背中中の左右の線が離れている

ミステリークレイフィッシュはメスのみ
(第1腹肢は発達しない)

条件付特定外来生物

アメリカザリガニ

子ザリガニは茶褐色で、まだら模様が出ることもありミステリークレイフィッシュと間違えやすい。

青色の品種もある。

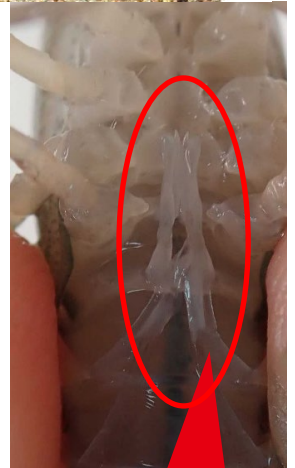
最大体長約12cm



ここが見分けの
ポイント



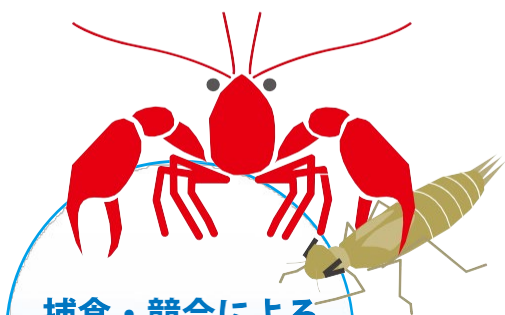
背中中の左右の線がほぼ接している



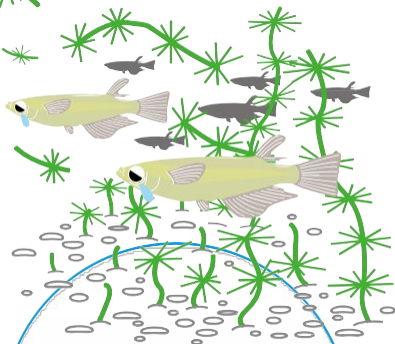
オスは第1腹肢が棒状の
生殖器になる



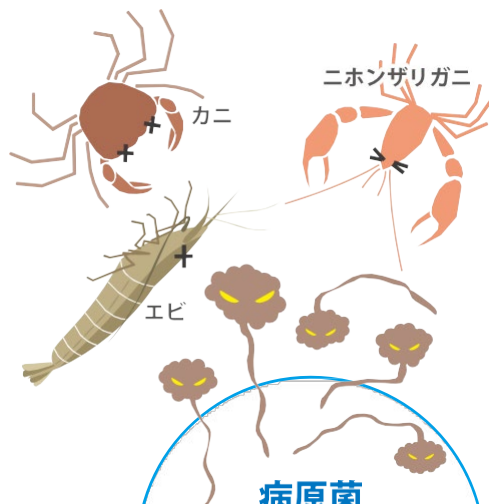
どんな被害があるの？



捕食・競合による
水生昆虫の減少



水草の切断による
水生植物帯の破壊



病原菌
(ザリガニカビ病・ウィルス)
の媒介



外来ザリガニの規制について

- ・全ての外来ザリガニが特定外来生物に指定されています。
- ・特定外来生物は飼育、運搬、輸入、放出及び譲渡し等が原則禁止されます。
- ・違反した場合には個人の場合には3年以下の拘禁刑又は300万円以下の罰金、法人の場合には1億円以下の罰金などがあります。
- ・アメリカザリガニは条件付特定外来生物に指定されており、一般家庭でペットとして飼育することはできますが、放出や販売などが原則禁止されています。



特定外来生物に指定
されているザリガニ
について



特定外来生物の
規制について



条件付特定外来
生物の規制につ
いて

ミステリークレイフィッシュかな？と思ったらお知らせください。

現時点では、野外でミステリークレイフィッシュが見つかる場所はごく一部の地域に限られていますが、アメリカザリガニとよく似ているために、生息していても見落とされている可能性もあります。

外来種の被害を防止するためには、早期発見、早期駆除が重要です。

このチラシの表面の「ここが見わけのポイント」のイラストを参考にして、ミステリークレイフィッシュかな？と思うザリガニを見つけたら、最寄りの地方環境事務所までご連絡ください。

野外で見つけた個体を別の場所に放すことは被害の拡大につながりますので、絶対におやめください。

お問い合わせ

